

# がんチームで治療

「チームで取り組むがん治療」をテーマにした市民公開講座(中四国広域がんプロ養成コンソーシアム)が4日、徳島市の徳島大学グランドホールで開かれた。岡山大学や徳島大学の医師ら、がんの専門医を養成する必要性や徳島大学の取り組みなどについて講演。また、パネルディスカッションでは乳がんの最新治療をテーマに、医師、薬剤師、看護師が院内で横断的に専門治療を連携して行う「がん治療」について事例を交えて話し合った。講演はパネルディスカッションの要旨は次の通り。

専門医と相互に協力し、がんの治療の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大

学でも相互に協力し、がんの治療の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大

## 玉置 俊晃氏あいさつ



がんは長年、日本の死亡原因の第1位となっている。がんを克服するために医師、医学研究者らは日々努力を続け、その結果、新しい治療法や新薬、機器が次々と開発さ

れている。がん治療の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大

■あいさつ  
玉置 俊晃氏  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部長  
■講演①「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの役割～あなたのそばに「がんプロフェッショナル」を～」  
松岡 順治氏  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科緩和医療学教授  
司会  
高山 哲治氏  
徳島大学病院消化器内科教授  
■講演②「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの取り組み」  
高山 哲治氏  
徳島大学病院消化器内科教授  
司会  
西岡 安彦氏  
徳島大学病院呼吸器・膠原病内科教授  
■講演③「がんと栄養」  
中屋 豊氏  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授  
司会  
雄西 智恵美氏  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス緩和ケア看護学教授  
■パネルディスカッション「チームで取り組む乳がん最先端治療」  
パネリスト  
中川 美砂子氏  
徳島大学病院食道・乳癌甲状腺外科助教・乳癌専門医  
久保 亜貴子氏  
徳島大学病院放射線科助教・放射線治療専門医  
三木 幸代氏  
徳島大学病院外来化学療法室看護部長・がん化学療法看護認定看護師  
中村 敏己氏  
徳島大学病院薬剤部薬品安全管理室長・がん専門薬剤師  
司会  
丹黒 章氏  
徳島大学病院食道・乳癌甲状腺外科教授  
■講演④「子宮頸がん予防ワクチンの公費助成とがん対策基本法」  
仁木 博文氏  
産婦人科医、衆議議員  
司会  
島田 光生氏  
徳島大学病院消化器・移植外科教授



## 患者に寄り添える人材を

医療への過度な期待は決して幸せにはつながらない。手立てのない状態での標準治療について、正しい判断を下す勇氣を持つていくことが大切だ。がん治療は、患者さん一人ひとりに寄り添って治療を進めていく必要がある。がん治療の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大



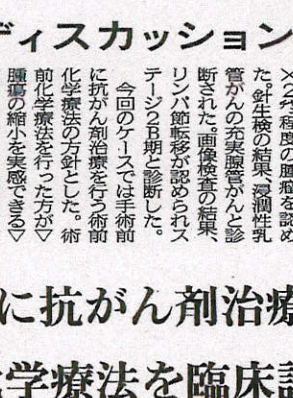
## 新治療法の習得機会提供

徳島大学では、中国・四国 治療専門医ががん薬物療法の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大



## 治療中は栄養状態を維持

がんの発生・発育との間に、根拠に基づいたがん予防法は、密接な関係がある。アメリカの調査では、がんで死亡する食生活の改善は最小限に留め、がんの予防に効果的だ。がん治療中は、栄養状態を維持することが大切だ。がん治療の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大



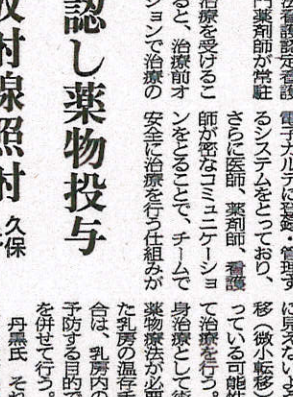
## 手術前に抗がん剤治療

丹黒氏は、がん治療のキーワードは「チーム医療」だ。がん治療は、医師、薬剤師、看護師、放射線科、栄養士など、さまざまな専門職が連携して行う必要がある。手術前に抗がん剤治療を行うことで、手術の効果を高めることができる。がん治療の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大



## 在宅ケア推進に新規予算

「子宮頸がん予防ワクチンの公費助成とがん対策基本法」が、がん治療の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大



## 再発防止へ放射線照射

三木氏は、がん治療のキーワードは「チーム医療」だ。がん治療は、医師、薬剤師、看護師、放射線科、栄養士など、さまざまな専門職が連携して行う必要がある。再発防止のために放射線照射を行うことで、がんの再発を抑制することができる。がん治療の高度化に伴う専門的な人材育成の必要性が高まり、2007年から文部科学省指導のもと、がんプロ養成コンソーシアムができた。徳島大学を含む中国・四国の8大

パネルディスカッション  
中川 美砂子氏  
久保 亜貴子氏  
三木 幸代氏  
中村 敏己氏  
丹黒 章氏  
仁木 博文氏  
島田 光生氏